

日本放射線腫瘍学会 日本がん看護学会 共催

がん放射線治療 看護セミナー

第9回テーマ：乳がんの放射線治療を受ける患者の看護

- 開催日程 : 2009年10月3日(土) 9:30~17:00
開催場所 : ベルサール六本木
募集方法 : 日本放射線腫瘍学会ホームページから受け付け、応募が募集人員に達した時点で締め切る。
日本放射線腫瘍学会ホームページアドレス : <http://www.jastro.jp/>
募集人数 : 350名
参加費 : 5,000円(日本放射線腫瘍学会もしくは日本がん看護学会会員)
8,000円(非会員)

はじめに

がん医療の中で放射線治療は根治から症状緩和まで多くの患者にとって重要な役割を担っている。放射線治療を受ける患者が増加する中で、「放射線」に対する根強い誤解や知識不足による不安を抱いている患者も多い。このような不安を和らげるために、看護師が事前にわかりやすい言葉で生活に即した指導を行うことは有用である。これは患者のセルフケアを促進することにもつながる。また、放射線治療を受ける患者は他のがん治療と同様に種々の有害事象を経験する。しかし、有害事象の多くは適切なアセスメントと効果的なケアの提供で症状を予防、もしくは低減させることが可能となる。一方、放射線治療には放射線治療医や診療放射線技師など多くの医療者が関わることも特徴のひとつである。医療者が患者を中心とした円滑なコミュニケーションを図るために、看護師は重要な役割を担っている。

これらのことを看護師が実行するためには知識が必要であるが、その知識は専門的で広範囲に及び、臨床では習得する機会が少ない現状である。そこで、患者が安心して適切な放射線治療を受けられるように、看護師への放射線治療の知識の普及を目的として本セミナーを継続して開催している。

第8回セミナー開催にあたって

第1回及び第2回はほとんどの患者が経験する「皮膚炎」を、第3回からは参加者アンケートで要望の高かった「口腔・咽頭粘膜炎」「骨転移」「子宮頸がん」「前立腺がん」をテーマとして開催し、いずれも参加者から高い評価を頂いた。

今回、テーマとして取り上げる「乳がん」も参加者アンケートの上位項目から決定した。乳がんに対する乳房温存術はI・II期乳がんに対する標準的治療の一つである。乳房照射は、多くの臨床試験の結果から乳房温存術後に加えることが必要な治療と考えられている。また、乳房切断術後も術前の腫瘍径やリンパ節転移数、腫瘍細胞残存の可能性などによって胸壁への照射が行われる。乳房や胸壁への照射は主に外来通院で行われ、急性有害反応としての皮膚炎の予防と出現した症状への適切な看護ケアが重要となる。本セミナーでは、患者への適切なアセスメントならびに効果的な看護実践のために必要な乳がんの放射線治療についての知識と情報を提供する。また、本テーマは臨床看護師の関心の高いテーマであることから、第8回(大阪)と第9回(東京)は開催地をかえて同様のテーマを扱う。

セミナーの目的

がん放射線治療に関する看護の質向上を図るために、適切なアセスメントならびに効果的な看護実践に必要な知識を提供する。

第8回セミナーの到達目標

乳がんへの放射線治療の特徴、作用・有害事象出現のメカニズムを含む基礎知識を理解する。

放射線治療の基礎知識および乳房・胸壁への放射線治療を受ける乳がん患者が抱える問題について理解することにより、適切なアセスメントならびに効果的・効率的な看護実践を結び付けて考えることが出来る。

セミナーの構成

放射線治療に関する基礎知識、疾患の病態と治療法、看護ケアについて概説し、最後のセッションは参加者に提示してもらった症例や質問を講師や他の参加者を含めてディスカッションする。最後のセッションの実施にあたり「乳がんの放射線治療」の看護ケアに苦慮した症例と質問等について、当日会場にて配布するアンケートを記入後に回収する。

カリキュラム

時間	内容	講師	備考
～9:30	Information	(総合司会；午前) 萬 篤憲 (独)東京医療センター放射線科医長 (総合司会；午前) 阿部 恵江 北里大学病院看護主任 がん看護専門看護師	
9:30～9:35	開会の辞	根本 建二 山形大学放射線腫瘍学分野 教授 日本放射線腫瘍学会 理事	5分
9:35～10:40	1. すぐに役立つ放射線治療の原理 放射線治療ががんに効く理由、放射線治療の有害事象について乳がん注目分子～人体レベルで解説する。	桜井英幸 筑波大学放射線科教授	65分
10:40～10:50	休憩		10分
10:50～11:55	2. 乳がん治療の全体像 乳がんの臨床的特徴、治療の選択基準などをエビデンスに基づいて説明する。	武石 優子 癌研有明病院 乳がん看護認定看護師	65分
12:00～13:00	ランチョンセミナー 「放射線取扱いに関する法令のやさしい解説」	小高喜久雄 国立国際医療センター 放射線科技師長	
	午後の部	(総合司会；午後) 北原 規 国際医療福祉大学 放射線科教授 (総合司会；午後) 藤本 美生 がん看護専門看護師 兵庫県立粒子線医療センター看護師	
13:10～14:00	3. 乳がんへの放射線治療 乳がんへの放射線治療の特徴と照射方法について最新の知見を基に概説する。	高森 健治 国立がんセンター 中央病院 診療放射線技師	50分
14:00～14:10	休憩		10分
14:10～14:50	4. 乳がんの放射線治療を受ける患者の声 放射線治療を受けた乳がん患者が具体的に困ったこと、工夫したことなどを乳がん患者サポートチームを運営する看護職の立場からお話する。	大畑 美里 聖路加看護大学 乳がんサポートチーム看護師	40分
14:50～15:00	休憩		10分
15:00～15:40	5. 乳がんの放射線治療を受ける患者のケア	末国 千絵	40分

	乳がん患者の心理・社会的状態、不安を軽減する 為に効果的な看護オリエンテーション、放射線治 療の有害事象症状の予防とアセスメントなどの看 護ケアを具体的に解説する。		
15:40～15:50	休憩		10分
15:50～16:50	ディスカッション・質疑応答 患者の看護問題とその解決へのアプローチについ て、参加者から回収した症例と質問を中心に講師 と受講者としてディスカッションする。	(司会) 角 美奈子 国立がんセンター中央病院放射線治療部医長 (司会) 喜多 みどり 東京都立府中病院 放射線科部長 (司会) 立石 久留美 (独) 東京医療センター 看護師長	60分
	閉会の辞	小松 浩子 聖路加看護大学 成人看護学教授 日本がん看護学会 理事	